

令和6年9月19日

福津市議会

議長 高山 賢二 様

決算審査特別委員会

委員長 中村 清隆

決算審査特別委員会審査報告書

令和6年第5回福津市議会定例会において、本委員会に付託を受けておりました案件についての審査結果を、会議規則第110条の規定により報告いたします。

記

1. 事 件 名

- ◎ 認定第1号 令和5年度福津市一般会計決算の認定について
- ◎ 認定第2号 令和5年度福津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- ◎ 認定第3号 令和5年度福津市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について
- ◎ 認定第4号 令和5年度福津市介護保険事業特別会計決算の認定について
- ◎ 認定第5号 令和5年度福津市公共下水道事業会計決算の認定について

2. 審査経過

- ◎ 付託年月日 令和6年8月27日
- ◎ 審査年月日 令和6年8月27日・9月9日・12日・17日

以上5議案は、全員の議員をもって構成した特別委員会で慎重に審査したため、詳細については省略。

3. 主な意見並びに審査結果

◎認定第1号 令和5年度福津市一般会計決算の認定について

【意見】

(賛成) なし

- (反対) 決算審査において、各事業の内容、課題、成果と事業の達成度を測る指標の関連性が分からない事業や、指標の意味、それに対する目標値と実績の説明ができない事業があった。このような状況では、支出が目的どおりに適法・適正になされ、その成果が十分に達成されているという判断はできない。また、小学校新設事業の事業費は、今後も増大の可能性がある、過大規模校対策にも大きな予算が必要になると予想される。その他にも、公共施設老朽化の対応や、扶助費の増加も大いに懸念される中、企業誘致等の財政確保の動きも消極的であると感じられる。行政本来の目的である高い行政サービスの提供につながる財政運営であったかという判断はできないため、反対とする。
- (反対) 住民サービスの後退、住民との合意形成が不十分なまま、民営化などを推進した第3次行財政改革大綱の事業が含まれていること。過密解消のために新設校建設は必要と考えているが、安全であるべき学校の安全性の評価、確認を十分せず、また、周辺地域住民への悪影響に対応しないままの建設推進は認めるわけにはいかないこと。決算の認定は、その審議を通じて、次年度以降にどのように生かすかが大事なポイントであるが、決算に対する分析評価の不十分さが散見されたため、これでは、教訓として引き出し、次年度に活かすという点で極めて不十分であることから反対とする。
- (反対) 小学校校舎整備事業の諸事業を進めるにあたって、公平な教育環境を整備していくための適正規模・適正配置計画を作らず、全体としての公正さを欠く事業であること。また、高潮、ため池、洪水の浸水想定区域であり、第三者である学識経験者等を入れて安全に建てるべきであったが、検討委員会も作らずに進めていること。市税をかけた公共事業において、周辺地域の一部に浸水被害の悪化を招くような事業を、住民の合意なしに進めていること。また、いまだ、周辺地域への説明会が2回しか実施されておらず、3回目も未定であるという中で、この事業費を認定するということには、非常に疑義があるため反対とする。

【審査結果】

本委員会では、賛成多数により認定すべきものと決定した。

◎認定第2号 令和5年度福津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

【審査結果】

本委員会では、賛成多数により認定すべきものと決定した。

◎認定第3号 令和5年度福津市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について

【意見】

(賛成) なし

(反対) 年齢で切り離し、囲い込み、医療費の増加分が保険料に直接跳ね返る仕組みの制度設計だと考えており、制度そのものに問題がある。よって、この決算認定について、反対とする。

【審査結果】

本委員会では、賛成多数により認定すべきものと決定した。

◎認定第4号 令和5年度福津市介護保険事業特別会計決算の認定について

【審査結果】

本委員会では、賛成多数により認定すべきものと決定した。

◎認定第5号 令和5年度福津市公共下水道事業会計決算の認定について

【審査結果】

本委員会では、賛成多数により認定すべきものと決定した。